

平成25年7月7日
今週のベストショット



奈多グラウンド 雁ノ巣ライナーズ 対 三苦ホーネッツ戦

ホーネッツを引っ張る新生二遊間・矢野二塁手と稲葉遊撃手でWプレー完成！

写真：三苦三球会 中村元

雁レクE 最終回に待っていた同点劇も束の間、サヨナラで奈多クラブが制す!!

新町パイレーツ（2勝1敗）000002 2 吉田●—大濱
奈多クラブ（3勝1分）010101X 3 今林瑠○—赤沢（大）

3BH：白岩（将）（新町パ）2BH：安部（健）（奈多ク）

試合はパイレーツ吉田投手、奈多クラブ今林瑠投手の先発で始まった。両先発とも初回は0点に抑え、まずまずの立ち上がりを見せた。二回裏奈多クラブは、四番安部(健)選手が目の覚めるようなセンターオーバー二塁打を放つと、六番今林瑠選手がセンター前タイムリーを放ち1点を先制。その後、四回裏奈多クラブは、一死二塁で、先制点を放った六番今林瑠選手が三塁ゴロを放ち、三塁手そのまま三塁を踏んでダブルプレーと思われたが一塁への悪送球となり、パイレーツは痛恨の1点を与えてしまう。このまま今林瑠投手の安定したピッチングで奈多クラブが逃げ切るかと思われたが、六回表、パイレーツはこの日2安打の二番升井選手がセーフティバンドを決め二死から出塁。続く三番白岩(将)選手が痛烈なレフトオーバー三塁打を放ち1点を返すと、四番桐島選手の際にパスボールにより土壇場で同点に追いついた。試合開始から75分が過ぎた為、その裏、最後の攻撃となる奈多クラブは、三番今林(卓)選手が四球で出塁すると、四番安部選手がセンター前ヒット、五番今林健選手が四球で無死満塁、一打サヨナラのチャンスとした。緊迫感が漂う中、パイレーツ吉田投手は六番今林瑠選手をショートゴロ、本塁フォースアウトに打ち取ったが、続く七番上野選手に四球を与え押し出しとなり、そのままゲームセット、奈多クラブが試合を制した。パンチ力がある両打線を両先発が好投し抑え、引き締まった好ゲームだった。また、パイレーツの二死走者無しから同点とした勝利への執念と一球で試合の流れが変わるソフトボールの怖さと奥深さを感じた試合だった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)



パイレーツ先発吉田投手。



奈多クラブ先発今林(瑠) 投手。



二回裏、センターオーバーを放つ奈多クラブ安部(健)選手。



三回裏、鋭いライトライナーを放つ奈多クラブ今林(賢)選手。



三回裏、ファールフライに飛びつくパイレーツ大濱捕手。



四回表、うまくゴロを処理する奈多クラブ今林健遊撃手。



四回裏、四球で出塁の奈多クラブ今林(卓)選手。



六回表、三塁打を放つパイレーツ白岩(将)選手。



六回表、同点のきっかけを作ったパイレーツ升井選手。



六回裏、無死満塁でマウンドに集まるパイレーツ内野陣。

奈多グラウンド 表紙の二人が活躍してホーネッツ快勝！

雁ノ巣ライナーズ（2勝1敗1分）10210 4 鳥越●—明瀬（旭）
 三苦ホーネッツ（3勝1敗0分）3022× 7 井手○、矢野—松尾

HR：稲葉（三苦ホ） 3BH：明瀬（旭）、明瀬（航）（雁ノ巣）

2BH：中口、久保田×2、鳥越、明瀬（航）（雁ノ巣） 盗塁：矢野、山崎×3（三苦ホ）

初回、先攻のライナーズは、先頭の中口選手のライトオーバー二塁打で得点圏にランナーを置き、四番久保田選手がセンターへ弾き返し1点を先制。しかし、その裏ホーネッツは先頭の矢野選手が相手エラーで出塁すると、四球やワイルドピッチなどライナーズのミスをつき、1ヒットで3点を奪い逆転に成功。三回表ライナーズは、四番久保田選手と六番明瀬（旭）選手の長打で2点を返し同点に追いつくが、その裏にランナーを1人置いてホーネッツ三番稲葉選手がレフトへ特大のホームランを放ち、また直ぐにライナーズを突き放す。四回表、ライナーズは八番鳥越選手、九番明瀬（航）選手の連打で1点を返し、尚も無死満塁の大チャンス！ここでホーネッツは、二番手矢野投手をマウンドへ送る。気迫のピッチングで2アウトとするものの、バッターボックスには今日2本の二塁打を放っている四番久保田選手。両チームが固唾を呑んで見守ったこの勝負は、好調の久保田選手を見事に三振に切っけて落とした矢野投手の勝利となった。その裏、ホーネッツは矢野投手の気迫の投球に応えるかのように、2点を追加し援護。勢いに乗る矢野投手は、ライナーズの最後の攻撃も三者凡退に打取りゲームセット。ホーネッツの5安打に対し、ライナーズは7本の長打を含む8安打を放ったが、効率の良い点の取り方を見せたホーネッツが7対4で勝利した。（記事：三苦三球会 小倉圭太 写真：中村 元）



一回表ライナーズ一番中口選手の打球はフェンス越えの二塁打。



一回表ライナーズ四番久保田選手先制のタイムリー二塁打。



一回裏ホーネットス山崎選手が生還し、その後方ではサードへの送球が逸れ、稲葉選手が3点目のホームイン。



三回表ホーネットス稲葉遊撃手、矢野二塁手の見事な連携でゲッツーを取る！



三回表、やや体勢を崩しながらも2打席連続の二塁打で出塁するライナーズ久保田選手。



三回表、六番明瀬(旭)選手の三塁打で同点に追い付く。



三回裏、ホーネットス山崎選手が本日2個目の盗塁を決める。



三回裏ホーネットス三番稲葉選手がレフトへ2ランを放ち、ライナーズを突き放す。



四回表、ライナーズ八番鳥越選手が反撃の口火を切る。



続く九番明瀬(航)選手のタイムリー三塁打で1点を返し盛り上がるライナーズ。



四回表、無死満塁の場面で気迫の投球を見せる、ホーネットスの二番手矢野投手。



四回表二死後、当たっていた頼みの四番久保田選手も三振に倒れる。



二死満塁のチャンスに倒れた直後のライナーズ久保田選手の印象的な苦い表情。



敗れはしたものの、ホーネットス打線を5安打に抑えたライナーズ鳥越投手。



四回裏、ホーネットス山崎選手の3本目のヒットは、自慢の足で奪った内野安打。この後3個目の盗塁を決める。



HRを放ったホーネットス稲葉選手と、この日もちゃっかり写ってる堺巖生選手。

雁レクD 奈多サンデーズ女房役荒口捕手！起死回生の3ランで試合を決めた！！

ソルトベイスターズ (2勝2敗1分)	000100	1	鶴野、中村 (耕) ●-酒井
奈多サンデーズ (4勝1敗0分)	000310	4	塚本○-荒口

HR : 荒口、土田 (奈多サ) **2BH** : 木下 (奈多サ) **盗塁** : 酒井、中村 (ソルト)、木下 (奈多サ)

ソルトベイスターズ鶴野投手、奈多サンデーズ塚本投手の投げ合いで、三回まで両軍無得点。四回表ソルトは、先頭の森選手がレフト前で出塁すると、すかさず盗塁し相手守備陣のスキをつき三塁まで好走塁を見せる。続く中村（耕）選手がライトフライで倒れ五番酒井選手の三遊間タイムリーで森選手が返り均衡破れる。しかし四回裏サンデーズ先頭五番大沼選手が死球、続く宮口選手がレフト前ヒット、代打前田選手が送りバントで一死二三塁とするが、続く代打川原選手が倒れ二死。そしてドラマが！！女房役の荒口選手が起死回生のセンターオーバー逆転3ラン！！緊張感あふれる試合に波がおきた！！続けとばかりにトップの木下選手がライトへの二塁打を放ち追加点を狙いにいったが、続く吉留選手がセカンドフライに倒れた。五回表、ソルトは九番からはじまる好打順だったが、八柄選手のセンター前ヒットのみで追い上げならず。その裏、サンデーズ先頭の三番土田選手が左中間ヘダメ押しHRを放ち4点目。ソルトは最終六回に望みをつないだがゲームセット。両投手を打ちあぐんでいた試合展開だったが、少ないチャンスをモノにしたサンデーズが勝利した。サンデーズ塚本投手も我慢、我慢のナイスピッチングでした！！（写真、記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝）



低い雲が空を覆う中、試合前の両軍選手がレフト前で出塁。



四回表、先制タイムリーのソルト酒井選手。



四回裏、サンデーズ九番荒口選手の起死回生逆転3ラン！！



五回裏、サンデーズ三番土田選手の一発！！



左から塚本投手、土田遊撃手、荒口捕手。

青松園A 勝って兜の緒を締めるbyウインズ

三苦フレンズ（0勝5敗）001030 4 山口●ー佐藤

新町ウインズ（2勝3敗）500001 6 藤田○ー今林

HR：藤田（新町ウ） 3BH：田中（盛）（三苦フ） 泉（新町ウ） 2BH：佐藤（三苦フ）

前日の大雨で外野は水溜りという状況で試合開始。先攻フレンズは四番までに20代を3人並べる布陣で挑む。しかし、球威十分のウインズ先発藤田投手は、2三振を奪う上々の立ち上がりで初回のフレンズを退けた。一方ウインズは先頭長岡選手が内野安打で出塁し、失策も絡め四番城戸選手のタイムリーで1点を先制すると、五番藤田選手が豪快な打球を右中間へ3ランを放ち、その後八番泉選手の三塁打でこの回一気に5点をあげた。ウインズは続く二回も先頭から三連打と活発な打撃を見せたが、走塁ミスも出てしまい追加点をあげることができなかった。序盤は藤田投手の球威に圧倒されていたフレンズも、三回に田中選手の三塁打で1点を返す。更に五回には三番佐藤選手の二塁打等で3点を返し、1点差とし一気に緊迫するが、六回裏ウインズが1点を追加し2点差となった時点で規定の時間が経過してしまった。雨の影響で外野の動きが極端に制限されるグラウンドコンディションの中、ミスを抑えたウインズの勝利となった。（写真：塩浜ジャガーズ 松下照夫、記事：高嶺信彦）



手堅いフレンズ内野陣。



足元の状態が悪く動けないフレンズ外野陣。



二度目の死球に悶絶するウインズ今林選手。



鋭い眼光で戦況を見つめるウインズ久保田監督。



勝って兜の尾を締めるウインズメンバー。

第8週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第8週のHP掲載時は2試合分の記事しかなく、楽しみにされている方にはご迷惑をかけた。

各チームの編集部員さんにおかれましては、月曜日夜までのレポートと写真の送信を厳守でお願いします。また、どうしても間に合わない場合は、HP下の編集部長へのメールからでも遅れる旨をお知らせください。各チーム内でも協力をお願いします。

さて7月7日七夕の第8週は快晴の下4試合が行われました。

雁レクEの昨年準優勝の新町パイレーツ対今年順調の奈多クラブ戦は、パイレーツ4安打奈多クラブ3安打と投手戦で2-3Xで奈多クラブがサヨナラ勝ち。先手を取った奈多クラブは、3安打中2安打を放った四番の安部健太選手がチャンスメイクをして2得点。一方パイレーツは4安打中3安打を放った二番升井慎一選手の活躍等で最終回同点に追いつくも最後は押し出しで痛い敗戦に。これで早くも全勝チームが無くなりました。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対三苦ホーネッツ戦は、8安打中7安打が長打のライナーズを一〜三番だけのわずか5安打（二番山崎選手の3打数3安打を含む）のホーネッツが4-7でライナーズを下しました。ここで生きたのはやはりホーネッツの機動力。リーグNo. 1といっても過言ではない俊足の上位打線がのびのびとプレーしているようです。各チームホーネッツの機動力対策は出来ていますか？また四回表無死満塁から登板した矢野選手の火消し役は見事。ホーネッツは若干の打線と守備位置の改革が行われているようですね。ライナーズはあと一歩。

雁レクDの昨年引き分けたソルトベイスターズ対奈多サンデーズ戦は、三回まで両チーム無得点。四回にソルトが1点を取り均衡を破ったが、その裏サンデーズ九番荒口選手のバットが火を噴き逆転すると三番土田選手にもHRが出て1-4の逆転でサンデーズ勝利。サンデーズ打線は、パンチ力のある荒口選手が九番を打つという怖い打線。荒口選手は、大ファールの後に三振など脆いところもあるが、さすがに常勝チームの正捕手として長年やってきた経験、その意外性と愛されるいじられキャラぶりでサンデーズにはなくてはならない存在となっている。塚本投手をうまくリードしてソルト打線に7安打されるも1点に抑えたところも評価される場所だろう。特に足を警戒しなくてはならないソルト一番中村健一選手を塁に出さなかった事が大きい。

青松園Aの三苦フレンズ対新町ウインズの試合は、初回四番城戸選手のタイムリーで先制すると、五番藤田投手の3ランなどで5点を奪い主導権を握ると、終盤のフレンズの追い上げをかわし切り4-6で2勝目。フレンズは泥沼の5連敗。フレンズは序盤に失点してしまうケースが多く、今後の課題と言える。

さて久しぶりに快晴の七夕の星に各チームどんな願いをかけたのでしょうか？

一つの勝利にすべてを懸ける夏の高校野球の福岡県予選も始まりましたし、ますます熱戦に期待します。

また、今年は例年以上に梅雨が明けるのが早く、序盤に遅れた試合消化が順調に進むことを祈ります。